

## 3. 陝西省

2024年の陝西省の域内総生産（GRP）の実質成長率は5.3%で、前年の4.3%を1ポイント上回った。全国の実質GDP成長率（5.0%）に対しては0.3ポイント上回った。2025年の経済成長率の所期目標は5.0%前後としている。

### 2024年の経済状況

2024年の陝西省の域内総生産（GRP）は前年比5.3%増の3兆5,538億7,700万元だった。GRPを産業別にみると、第一次産業は前年比3.5%増の2,621億9,600万元、第二次産業は6.1%増の1兆4,518億9,700万元、第三次産業は5.0%増の1兆8,397億8,400万元だった。消費者物価上昇率は0.1%（2023年は0.1%）、固定資産投資額（農家を除く）は前年比5.2%増（2023年は前年比0.2%増）、一定規模以上の工業生産は7.8%増（2023年は前年比5.0%増）、社会消費品小売総額は4.8%増（2023年は前年比3.4%増）だった。陝西省の住民1人当たり可処分所得は5.5%増の3万3,905元となった。貿易総額は前年比12.3%増の4,540億7,400万元、うち輸出は3,063億4,800万元、輸入は1,477億2,700万元、貿易収支は1,586億2,100万元の黒字だった。

### 陝西省の特徴

陝西省の省都・西安市はシルクロードの起点として、古くから国際的な交易や文化の交流が行われてきた。近年は中国が国家戦略として進める「一帯一路」（シルクロード経済帯と21世紀海上シルクロード）構想におけるシルクロード経済帯の起点として注目されている。また、「一帯一路」構想を担い、中国の内陸経済を牽引することへの期待から、2017年4月には中国（陝西）自由貿易試験区が設立された。

陝西省は中国の地理的中心に位置し、中国の東西南北を結ぶ交通のハブである。西部大開発プロジェクトの進展に伴い、陝西省では高速道路、高速鉄道の開通、西安咸陽国際空港の拡張など、急速にインフラ建設が進む。鉄道では中央アジア、欧州に至る国際貨物列車「長安号」が開通しており、2024年の運行本数は4,985本であり、2013年の運行開始以来、累計で25,000本を超えた。また重箱率、貨物運送量などの指標において全国上位を占めている。航空では、全国十大空港の1つである西安咸陽国際空港の第5ターミナルが2025年2月より運用開始された。

陝西省は教育レベルが高く、人口10万人当たりの高等教育在校生数が全国3位となっている。豊富な科学教育資源を生かして、航空宇宙産業、IT産業、先端農業等の分野で中国を代表する産業基盤が形成されている。陝西省における優秀な人材と産業基盤を生かした研究開発と技術革新は、中国全体の産業の高度化においても重要な役割を担っている。

### 国際都市を目指して

すでに進出している企業が陝西省で安定して操業でき、外国人が過ごしやすい環境を整備することが、先進的な取り組みをする外国企業や外国人旅行者の誘致につながり、陝西省が目標とする内陸の改革開放の高地の建設に有益と考える。陝西省に進出する日系企業が、いっそう発展を遂げ、陝西省の経済発展に寄与するために挙げた建議を整理すると、以下の3点に集約される。

第一に、予見可能性の向上である。環境規制への対応では、自社やサプライヤーが地域の空気汚染濃度が高まったときなどに急に操業停止の指示を受けて安定供給の責任を果たすことが困難になり、顧客の信用を失っている事例があった。すでに進出している企業が陝西省で安定して操業し、発展できるよう、インフラを整え、規制措置は公平且つ合理的なルールを前広に書面で公式に発表することを要望する。

第二に、外国人も過ごしやすい環境の整備である。古都・西安を有する陝西省は元来海外からの観光客が多く、国際文化旅行都市として発展を目指している。こうした海外からの観光客や生活する外国人も過ごしやすい環境を整備することが、陝西省の持つ都市としての魅力の海外への発信となり、さらなる企業や旅行者の誘致につながるものと考えられる。

第三に、総合的な視野に立った公平で迅速な行政サービスの提供である。陝西省が、世界銀行の報告書「ビジネス環境の現状（Doing Business）」をベンチマークし、陝西省のビジネス環境と競争力が、中国国内の経済が発展している地域の水準に追いつき追いつくよう取り組んでいることを歓迎したい。投資環境の改善にあたっては、陝西省進出企業の実情に即したものとなるよう、政策・法令・計画の策定過程で日系企業を含む関連企業との情報交換、調整を十分に行うことを要望する。

### 対話を通じた互恵関係の構築に向けて

陝西省関係当局と日系企業を含む外資系企業とのビジネス環境の改善に関する対話の機会を継続的に設けることを要望する。陝西省の投資環境が改善され、企業の円滑な事業展開につながり、競争力のある産業が成長するという互恵関係の構築を目指したい。

#### <建議>

##### 1. 安定操業環境の確保

###### ① 駐在員、人材

就労ビザに関して、製造業における技術指導および会社全体の管理に熟練した日本から派遣する駐在員は、高齢化の問題もあり就労ビザの取得が難しくなっている。他方、若手駐在

員に対しては学歴、就労経験などの条件によりビザが下りない可能性がある。日本から安心して人材が派遣できるようビザ条件の緩和措置などの政策の検討を要望する。また、慢性的に製造ワーカーの供給が不足している。これらについて効果ある政策措置を要望する。

## ② 環境政策

日系企業が法令遵守を適切に行うにあたり、生態環境庁、各区政府当局による監視や取り締まりなど執行面において、従来は担当者の恣意的な対応であったが、合理的な検査に改善しつつあることは企業にとっては良いことである。今後も徹底することを要望する。

## 2. 交通、生活環境、インフラ整備の改善

### ③ 日本からの渡航に関する利便性の向上

2024年以降、成田空港に加え関西空港、中部空港からの直行便路線の増加により日本からのアクセスが改善した。短期訪問ビザ免除による訪問客増加も予想されることからハイシーズンにおける毎日運航等のさらなる利便性の向上を要望する。

また、支付宝や微信支付等の電子決済において国際クレジットカードを紐づけることができるようになり、出張者の利便性が向上した。外国人が暮らし易い外国語での情報提供の充実等、さらなる生活環境の整備を要望する。

### ④ 市内渋滞の抜本的な改善

交通渋滞が頻発していることに関して、改善が全く見られない。交差点において二進も三進もいかなることが常態化している。バイクの交通マナーも改善が見られない。交通法規を無視した逆走や歩道での高速走行、信号無視等が目にする状況であり、交通違反の取り締まり強化や制限の強化を要望する。

また近年は雨が多い傾向にあり、道路における排水不良箇所が多すぎる。横断歩道を覆うような水たまりができており、歩道外を歩かざるを得ない状況で非常に危険である。2024年は特に中国各地において洪水等の水害が頻発しており、温暖化により将来、大災害にもつながりかねない重要な問題であり、抜本的な改革を要望する。